



# 平成30年3月期 第1四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成29年8月10日

上場会社名 松田産業株式会社

上場取引所 東

コード番号 7456 URL <http://www.matsuda-sangyo.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松田 芳明

問合せ先責任者 (役職名) 取締役IR部長 (氏名) 木下 敦視

TEL 03-5381-0728

四半期報告書提出予定日 平成29年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成30年3月期第1四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年6月30日)

### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第1四半期	45,721	17.8	1,055	99.5	1,156	113.6	761	130.8
29年3月期第1四半期	38,800	13.8	529	45.4	541	55.7	330	58.2

(注) 包括利益 30年3月期第1四半期 722百万円 (2,011.9%) 29年3月期第1四半期 34百万円 (95.4%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第1四半期	28.93	
29年3月期第1四半期	12.53	

### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
30年3月期第1四半期	74,127	53,772	72.5
29年3月期	72,715	53,419	73.4

(参考) 自己資本 30年3月期第1四半期 53,737百万円 29年3月期 53,390百万円

## 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		14.00		14.00	28.00
30年3月期					
30年3月期(予想)		14.00		14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

## 3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	84,000	6.3	1,400	12.4	1,600	12.1	1,140	17.6	43.29
通期	175,000	7.3	3,200	8.1	3,500	1.2	2,490	1.4	94.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- |                    |     |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更         | : 無 |
| 会計上の見積りの変更         | : 無 |
| 修正再表示              | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	30年3月期1Q	28,908,581 株	29年3月期	28,908,581 株
期末自己株式数	30年3月期1Q	2,575,155 株	29年3月期	2,575,021 株
期中平均株式数(四半期累計)	30年3月期1Q	26,333,475 株	29年3月期1Q	26,333,779 株

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお業績予想に関する事項は、[添付資料]3ページ「1.当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	P. 2
(1) 経営成績に関する説明	P. 2
(2) 財政状態に関する説明	P. 2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 4
(1) 四半期連結貸借対照表	P. 4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	P. 6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 9
(継続企業の前提に関する注記)	P. 9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	P. 9
(セグメント情報等)	P. 9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における我が国経済は、企業収益や雇用情勢の改善などを背景に緩やかな回復基調が続くものの、個人消費は力強さを欠く状況で推移しました。また、先行きについては、国内の労働力不足に対する懸念や海外経済の不確実性など、依然として不透明な状況が続いております。

このような状況のもと当社グループの貴金属関連事業においては、国内外の生産拠点活用と営業展開の強化を進め、貴金属原料の確保、化成品等の製品販売及び産業廃棄物処理受託の拡大に取り組んでおります。また、食品関連事業においては、顧客ニーズを捉えた商品の開拓と提供に鋭意取り組み、国内はもとより、海外展開の拡大も含めた積極的な営業活動を推進し、販売量の拡大に努めております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高45,721百万円（前年同四半期比17.8%増）、営業利益1,055百万円（前年同四半期比99.5%増）、経常利益1,156百万円（前年同四半期比113.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は761百万円（前年同四半期比130.8%増）となりました。

各セグメント別の概況は次のとおりであります。

#### 貴金属関連事業

当事業の主力顧客であるエレクトロニクス業界は、電子部品・デバイス分野を中心に総じて生産状況は好調に推移しました。このような状況の中で当社グループの貴金属関連事業では、貴金属リサイクル及び産業廃棄物処理の取扱量が増加し、写真感材業界の市場縮小などから銀製品の販売量は減少したものの、金製品及び電子材料等の販売量は増加し、貴金属販売価格の上昇もあり、全体としての売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は28,688百万円（前年同四半期比17.6%増）、営業利益は613百万円（同64.2%増）となりました。

#### 食品関連事業

当事業を取り巻く状況は、国内の個人消費に力強さは欠くものの、食品製造業の生産活動は輸出好調にも支えられ概ね堅調に推移しました。このような状況の中で当社グループの食品関連事業では、すりみは販売価格が下落し、農産物は販売数量が減少しましたが、水産品及び畜産品の販売数量は増加し、売上高は前年同四半期に比べ増加しました。

これらの結果、当該事業の売上高は17,047百万円（前年同四半期比18.1%増）、営業利益は442百万円（同184.6%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (1) 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,412百万円増加し、74,127百万円となりました。これは主として受取手形及び売掛金、たな卸資産の増加によるものです。

##### (負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ1,058百万円増加し、20,355百万円となりました。これは主として借入金の増加によるものです。

##### (純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産は、前連結会計年度末に比べ353百万円増加し、53,772百万円となりました。これは主として期末配当金の支払いを上回る利益剰余金の増加によるものです。

(2) キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ245百万円増加し7,029百万円となりました。

（営業活動のキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における営業活動により減少した資金は1,975百万円となりました。これは主に税金等調整前四半期純利益による資金の増加と、売上債権の増加、たな卸資産の増加、仕入債務の減少及び法人税等の支払いによる資金の減少の差引によるものです。なお、前年同四半期の947百万円の資金の増加に比べ2,922百万円減少しました。

（投資活動のキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における投資活動に使用した資金は264百万円となりました。これは主として工場設備等の有形固定資産取得によるものです。なお、前年同四半期の260百万円の支出に比べ3百万円の支出増加となりました。

（財務活動のキャッシュ・フロー）

当第1四半期連結累計期間における財務活動により増加した資金は2,513百万円となりました。これは主に期末配当金の支払いを上回る借入金の増加によるものです。なお、前年同四半期の791百万円の資金の減少に比べ3,305百万円増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

現時点では、前回発表時（平成29年5月12日）の業績見直しを変更していません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,784	7,029
受取手形及び売掛金	19,954	20,484
商品及び製品	14,226	15,209
仕掛品	404	423
原材料及び貯蔵品	6,311	6,309
繰延税金資産	449	263
その他	2,698	2,783
貸倒引当金	△9	△7
流動資産合計	50,820	52,497
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,835	8,820
減価償却累計額	△4,597	△4,673
建物及び構築物(純額)	4,237	4,146
機械装置及び運搬具	8,254	8,261
減価償却累計額	△6,092	△6,252
機械装置及び運搬具(純額)	2,161	2,008
土地	7,791	7,779
リース資産	644	673
減価償却累計額	△197	△217
リース資産(純額)	446	456
建設仮勘定	42	96
その他	1,083	1,063
減価償却累計額	△903	△892
その他(純額)	180	171
有形固定資産合計	14,859	14,658
無形固定資産		
その他	895	859
無形固定資産合計	895	859
投資その他の資産		
投資有価証券	4,470	4,541
繰延税金資産	3	3
その他	1,733	1,631
貸倒引当金	△68	△65
投資その他の資産合計	6,139	6,111
固定資産合計	21,894	21,630
資産合計	72,715	74,127

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成29年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	8,223	7,266
短期借入金	1,993	5,180
1年内返済予定の長期借入金	994	905
リース債務	127	165
未払法人税等	572	295
繰延税金負債	-	9
賞与引当金	744	448
その他	3,184	2,706
流動負債合計	15,840	16,976
固定負債		
長期借入金	1,598	1,399
リース債務	318	412
繰延税金負債	636	649
役員退職慰労引当金	565	575
執行役員退職慰労引当金	16	18
退職給付に係る負債	228	231
その他	92	92
固定負債合計	3,456	3,378
負債合計	19,296	20,355
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,559	3,559
資本剰余金	4,008	4,008
利益剰余金	47,515	47,909
自己株式	△3,009	△3,009
株主資本合計	52,074	52,467
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	627	631
繰延ヘッジ損益	△30	39
為替換算調整勘定	810	686
退職給付に係る調整累計額	△91	△87
その他の包括利益累計額合計	1,315	1,269
非支配株主持分	29	34
純資産合計	53,419	53,772
負債純資産合計	72,715	74,127

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
売上高	38,800	45,721
売上原価	34,942	41,315
売上総利益	3,858	4,405
販売費及び一般管理費	3,329	3,349
営業利益	529	1,055
営業外収益		
受取利息	1	2
受取配当金	10	10
有価証券売却益	3	-
持分法による投資利益	119	111
仕入割引	3	4
その他	10	11
営業外収益合計	147	140
営業外費用		
支払利息	7	10
為替差損	27	13
投資有価証券評価損	96	11
その他	4	5
営業外費用合計	135	41
経常利益	541	1,156
税金等調整前四半期純利益	541	1,156
法人税、住民税及び事業税	82	220
法人税等調整額	123	168
法人税等合計	205	389
四半期純利益	335	766
非支配株主に帰属する四半期純利益	5	4
親会社株主に帰属する四半期純利益	330	761



## 四半期連結包括利益計算書

## 第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
四半期純利益	335	766
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19	4
繰延ヘッジ損益	△0	70
為替換算調整勘定	△257	△86
退職給付に係る調整額	8	4
持分法適用会社に対する持分相当額	△71	△37
その他の包括利益合計	△301	△44
四半期包括利益	34	722
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	28	716
非支配株主に係る四半期包括利益	5	5

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	541	1,156
減価償却費	287	338
貸倒引当金の増減額(△は減少)	0	△5
賞与引当金の増減額(△は減少)	△219	△295
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	12	9
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△37	9
執行役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	-	1
受取利息及び受取配当金	△11	△13
支払利息	7	10
持分法による投資損益(△は益)	△119	△111
売上債権の増減額(△は増加)	△398	△531
たな卸資産の増減額(△は増加)	△265	△1,010
仕入債務の増減額(△は減少)	602	△953
その他	860	△161
小計	1,258	△1,555
利息及び配当金の受取額	11	13
利息の支払額	△7	△10
法人税等の支払額	△315	△422
営業活動によるキャッシュ・フロー	947	△1,975
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△192	△345
無形固定資産の取得による支出	△62	△25
投資有価証券の取得による支出	△1	△1
投資有価証券の売却による収入	5	-
その他	△8	108
投資活動によるキャッシュ・フロー	△260	△264
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△117	3,206
長期借入金の返済による支出	△288	△288
配当金の支払額	△368	△368
その他	△17	△36
財務活動によるキャッシュ・フロー	△791	2,513
現金及び現金同等物に係る換算差額	△237	△28
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△342	245
現金及び現金同等物の期首残高	9,524	6,784
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,181	7,029

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第1四半期連結累計期間(自平成28年4月1日至平成28年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	24,386	14,413	38,800	—	38,800
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	15	15	△15	—
計	24,386	14,429	38,816	△15	38,800
セグメント利益	373	155	529	—	529

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## II 当第1四半期連結累計期間(自平成29年4月1日至平成29年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	貴金属関連事業	食品関連事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	28,688	17,032	45,721	—	45,721
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	14	14	△14	—
計	28,688	17,047	45,736	△14	45,721
セグメント利益	613	442	1,055	—	1,055

(注) 1 調整額の内容は、セグメント間取引及び振替高の消去であります。

2 セグメント利益の合計額は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。